

部署紹介①  
看護助手

# 大活躍の看護助手さん達！！



当院の看護助手さん達は、6月現在44名のメンバーで、看護局に所属し、各部署に数名ずつ配置しています。一般病棟では、早出・中出・遅出の交替勤務を行い、外来を含めた一般病棟以外の部署では、中出勤務を行っていただいています。

シフト	早出	中出	遅出
勤務時間	7:00～14:45	8:30～16:15	11:15～19:00

この44名は、10代から60代の方々と年齢幅も広く新人からベテランの方々まで、皆さん、医療に携わりたい・何か患者さんにお世話がしたい・看護学校に行きたい等、志を持って日々業務を頑張ってくれています。

主な業務内容は、ベッド周囲の清潔・整頓、ベッドメイキング、患者さんの清潔に関するお世話、排泄に関するお世話、食事に関するお世話、安全安楽に関するお世話、運動・移送に関するお世話、診療に必要な機械器具の準備・片付け、入退院・転入転出に関するお世話、物品の搬送などです。

急性期の病院の為、患者さんの出入りも多く、重症患者さんも多くいらっしゃいますが、看護師と協働で行う業務と助手さんだけで行ってもらっている業務にわけ、お互いコミュニケーションをとりながら患者さんの療養生活援助の手助けを行っていただいています。助手さん達のフットワークの良さは



素晴らしく、今この仕事してくれていると思ったら、もう次の仕事に取り掛かってきています。優先順位を考えたり、何が患者さんの安心・安全に繋がるのだろうと考えながら、助手さんの仕事は、体と頭を使うやりがいのある仕事だと思います。

患者さんの安心・安全をめざして、少なくとも年4回は、助手さん達への医療安全・感染・看護技術・接遇などのテーマでの院内研修を行っています（平均参加率85％）。

医療チームにとってはなくてはならない存在であり、1人1人の支えや協力があってはじめて患者さんへの看護が成立します。これからも、皆で協力し合いながら看護援助を実施して欲しいと思っています。

副看護局長 鈴木 千晶



## 第9回 緩和ケア研修会を開催しました

平成29年5月27日(土)・28日(日)に当院にて『第9回りんくう緩和ケア研修会』を開催しました。

『りんくう緩和ケア研修会』は、がん診療に携わる医師が緩和ケアについての基本的な知識を習得し、治療の初期段階から緩和ケアが提供されるようにすることを目的としたもので、本年は研修医1年目のドクターから、病院長まで一同に集まり5月27日、28日の2日間にわたり開催しました。

研修内容としては、講義やロールプレイ、ワークショップ等を行い、予定通り2日間の研修を受講者全員修了することができました。

2日間、朝早くから夜遅くまでの長時間の研修でしたが、受講者の活発な議論や発表で、今年度も盛況に終わりました。

